

# ~OCT緑内障を解消する~ 長眼軸データベースを用いた OCT症例報告

## 座長のことば

近年のOCTは高精度で使いやすく、広く普及して各種プログラムも充実してきました。一方で、OCT緑内障というような言葉を耳にすることがあり、臨床所見を踏まえて結果のデータを読む必要があります。そこで、人種や年齢あるいは眼軸長などに対するOCT測定値のデータベースがあれば、このような問題も防ぐことが可能になります。今回、OCTによる日本人の長眼軸データベースができましたので、作成メンバーにこの点について様々な角度から検討し、報告していただくセミナーにしたいと考えています。まず数年前に作成しました日本人正常眼データベースと、今回の長眼軸データベース両方の作成メンバーに加わっていただきました金沢大学の久保真司先生にその概要についてお話していただきます。続いて、データベースを作成することがOCTを用いた緑内障診療に与える影響について、久留米大学の板谷正紀先生にお話していただきます。最後に、長眼軸の強度近視眼をOCTで測定する際のコツや、見逃してはならない注意点等について東京医科歯科大学の大野京子先生にお話していただきます。先生方には多くの症例をもとに分かりやすくお話していただくようお願いしています。明日からの診療に役立つ情報満載のモーニングセミナーに、たくさんの先生方のご参加をお待ちしています。そのために朝少し早い起床と出発をお願いします。

座長



Nagahisa Yoshimura

吉村 長久先生  
京都大学大学院  
医学研究科眼科学 教授

座長



Hiroko Terasaki

寺崎 浩子先生  
名古屋大学大学院  
医学系研究科眼科学 教授

## 長眼軸データベース概要

演者



Shinji Ohkubo

大久保 真司先生

金沢大学附属病院眼科 病院臨床准教授

## 長眼軸データベースを使った症例報告

演者



Masanori Hangai

板谷 正紀先生

久留米大学医学部眼科学講座 准教授

## 長眼軸疾患眼の読影

演者



Kyoko Ohno

大野 京子先生

東京医科歯科大学大学院眼科学 准教授

